



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0025
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第365号

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

神とはしゃぐ心を持つとう マヘル神父

レクリエーション大会において、若いお父さんの肩の上に乗った3歳の娘さん、早い動きが続きそばで見ていると、あっ危ない!と思うことがあったのですが、父娘(おやこ)は完全な信頼関係に結ばれているのです。笑い声をあげ楽しそうに、はしゃぐ小さな娘さん。これはまさに、パパ様の文章を思い出します。

1. 福音の喜びは、イエスに出会う人びとの心と生活全体を満たします。イエスの差し出す救いを受け入れる者は、罪と悲しみ、内面的な虚しさや孤独から解放されるのです。喜びは常にイエス・キリストと共に生み出され、新たにされます。この勧告において、私はこの喜びを特徴とする福音宣教の新しい旅の段階へとキリスト者を招き、今後数年の教会の歩みの道筋を示したいと思います。

2. 多様で圧倒的な消費の提供を伴う現代世界における重大な危機は、個人主義の虚しさです。この虚しさは、楽な方を好む貧欲な心を持ったり薄っぺらな快楽を病的なほどに求めたり、自己に閉じこもったりすることを生じます。内面的生活が自己の関心のみに閉ざされていると、もはや他者に関心を示したり、貧しい人々の事を考えたり、神の声に耳を傾けたり、神の愛がもたらす甘美な喜びを味わうこともなくなり、ついには、善を行う熱意も失ってしまうのです。信仰者にも、常

にこの誘惑に陥る危険性が確かにあります。多くの人とその危険に陥り、いらいらして、愚痴をこぼし、生き生きとしていられなくなっています。それでは、尊厳ある充実した人生を選択することにはなりません。それは神が望んでいる道ではありませんし、復活したキリストの心から湧き出る聖霊に結ばれた生活でもありません。

3. 私は全てのキリスト者に、どのような場や状況にあっても、今この瞬間、イエス・キリストとの人格的な出会いを新たにするように呼び掛けたいと思います。少なくともイエス・キリストとの出会いを妨げないよう、日々努力することを勧めます。誰もそう招いています。「主によってもたらされた大きな喜びは、誰も除外しない」からです。主にかける者を主は失望させません。小さな一歩であってもイエスに向かって歩み出すならば、イエスが両手を広げてその到着を待っていることに気が付くでしょう。その時こそ、イ

北九州地区/クリエ-ション大会	2面
マリア子供園・教会学校のページ	3面
小教区委員会	4面
聖書の分かち合い	5・6面
ノーベル平和賞受賞を聞いて	6面
世界三大宗教を知る	7面
お知らせ・ホーム炊き出し報告	8面

イエス・キリストに向かって次のように言う時です。「主よ私は間違っていました。何度もあなたの愛から逃げました。しかし、今もう一度あなたとの約束を更新する為にここにいます。主よ、あなたを必要としています。もう一度贖いの腕に私を受け入れ、救い出してください」。私達が道に迷った時、主に立ち帰ることが出来れば、どんなに素晴らしいでしょう。繰り返して言いますが、常に神は、倦むことなく私達を赦してくださいます。かえって私達の方が、神のいつくしみを求めるのにうんざりしてしまうのです。イエスは私達に七の七十倍(マタイ18・22)許すようにと教え、ご自分からその模範を示して、

七の七十倍も私達を赦します。そして、私達をご自分の肩に負うのです。このような揺るがない無限の愛が私達にもたらす尊厳を、誰も奪うことが出来ません。イエスのお蔭で、私達は顔を上げ新たな出発が出来るのです。イエスのやさしさは私達を決して失望させることなく、いつも喜びを取り戻させてくれます。イエスの復活から離れないようにしましょう。決して負けを認めてはなりません。どんなことがあってもです。私達をいつも前進させるイエスの命より大切なものはないのです。(福音の喜び1. 2. 3 教皇フランシスコ著引用)

北九州地区信徒協 レクリエーション大会 10月9日(月)

マヘル神父を先頭に水巻から15名で参加してきました。山口や大分など遠くから集まった青年たちが運営を手伝い盛り上げてくれました。グランドゴルフやグリーンソフト、飴食い競争など幼児からお年寄りまで楽しめる楽しい大会でした。各教会の神父様も多く参加し、北九州の信徒たちが一つに集う貴重な時間となりました。下記の写真をご覧ください。



マリア子供園(保育園建物)起工式

10月8日、司教様をお迎えして、起工式が10月らしい快適な天候のもと、行われました。



開催を待つ人たち。



司教様とマヘル神父様がお揃いに。

この場所ももうあと僅かか。

司教様の祝辞



教会学校のページ

9月24日 出席者 山田蓮くん
マタイによる福音 20章 1節から 16節を読みました。

「こじか」に掲載されている東京教区、林正人神父様の解説を読みイエス様の例え話について考えました。私たちはどれだけやったかばかりみて、そこにどんな悲しみやつらさがあるかわかってあげずに「あの人があれしかやっていない、ズルい」と考えてしまう事があります。人と人をくらべるのではなく、一人一人かけがえのないものとして大切にしてくださる神さまの心を持つ事が少しでもできるようにお祈りしましょう。賛美歌「ありがとう」を歌いました。

10月8日 出席者 山田蓮くん

マタイによる福音 21章 33節から 43節を読みました。イエス様の例え話に込められたイエス様の思いを、一度に理解するのは時々難しいです。それは子どもだけでなく大人も同じです。自分なりに、その意味を色々と考えて少しずつでもより良い毎日を過ごすヒントにして行く事が出来るようにしましょう。

教会はどんな立場の人でも受け入れる広い愛に満ちた場所だと言う、司教様のお話について話しました。

委員会等報告

2017年10月分

10月度小教区委員会 10月1日

1. 行事予定

- 11月1日(水) 諸聖人ミサ
9:30~、19:30~
- 11月2日(木) 死者の日ミサ
9:30~、19:30~
- 11月3日(金) 神学院祭
- 11月5日(日) 小教区委員会
- 11月11日(土)~12(日) ボランティア活動
- 11月18日(土) 七五三お祝い
- 11月12日(日) 役員会
- 11月19日(日) 堅信式
北九州地区聖書講座 14:00~
- 11月23日(木) 福岡教区の日
- 11月26日(日) 聖堂外の飾り、大掃除
- 12月3日(日) 小教区委員会
- 12月8日(金) 共同回心式
10:00~、19:30~
- 12月10日(日) ベリオン神父 金祝記念ミサ 待降節黙想会 ミサ後パーティー

2. 議事

(1) 神学院祭、福岡教区の日

神学院祭

日時: 11月3日(金) 9:00~15:00

会場: 日本カトリック神学院福岡キャンパス

テーマ: 神の声を聞こう

スケジュール:

8:30 開場 9:00 開会式

9:30 ミサ 11:30 各種催し

14:30 神学生による劇 15:00 閉会式

教区の日

日時: 11月23日(木)

会場: 司教座聖堂(大名町教会)

スケジュール: 10:15~ 導入の祈り(テゼの祈り) 10:30~ 講話と報告発表

講師 古巣 馨神父(長崎教区)

「ユスト高山右近について」

子供用プログラム

一部; 基山教会による人形劇

二部; 教会学校のリーダーと一緒に楽しく

12:30~ 昼食とゆるしの秘跡

弁当は各自持参(小学生の昼食は有り)

14:00~ 感謝ミサ 司式; 宮原司教

(2) 堅信式対応

11月19日 宮原司教様により堅信式が行われます。今年は3名の方が堅信を受けます。ミサ後、お祝いの茶話会を実施します。

(3) 保育園建設工事

いよいよ保育園の建設工事が始まりました。来年2月末の完成を予定しています。

北側の駐車場の半分が使えなくなります。残りの敷地内になるべく詰めて駐車下さい。駐車場所として、幼稚園の園庭内も駐車可とします。近くの商工会議所の駐車場にも止めることができます。ミサ後、早く帰りたい方は商工会議所の方に止めるなど、工夫と協力をお願いします。なお、隣の松本クリニック駐車場には決して止めないで下さい。11月の棟上げ式では餅まきもするそうです。

聖書の分かち合い・抄録 (歴代誌下の後半)

「聖書の分かち合い」(水曜夜)において、旧約聖書を読んでいます。今回紹介するものは、継続して読む中、もう1年前のものかもしれません。歴代誌下で、栄華を極めたソロモン王の死後、現在のイスラエルが南と北に分裂し、南ユダの国王と、北イスラエルの国王の2者が並び立った約200年間の時代について、学んだことを紹介します。

まず、王の系譜を挙げます。人名の間の数字は紀元前での年代です。

北・イスラエル 922 ヤロブアム、ナタム **900** バアシャ*、エラ*、ジムリ*、オリム*、アハム* **850** アハジャ*、ヨラム、エヒウ、エホヤハズ、ヨアシ、**800** ヤラベアム2世、ザカリア、シャルム、メナヘム、ベカヒア、ベカ、ホセア、**722** サマリア滅亡

南・ユダ 922 (ソロモンの後継)レハブアム、アビア、アサ、**900** ヨシャバテ、**850** ヨラム、アハジャ、アタリア*、ヨアシ、**800** アマジャ、ウジア・アザリア、ヨタム摂政、ヨタム、アハズ*、ヒゼキア、**700** マナセ*、アモン*、ヨシア、**650** エボヤハズ、エホヤキム、エホヤキン、ゼデキア、**587** エルサレム滅亡→バビロン捕囚へ

ソロモンの死後、その子、レハブアムが王位を継承しました。一方、有能であった故でしょうか、ソロモンに冷遇され、エジプトに下っていたヤロブアムが、レハブアムのもと

に参上。聖書の記述によれば、これに対し、新王レハブアムは、若気の至りで、「冷遇どころか、徹底して懲らしめてやる」と言い放ってしまいました。これが、傍系のヤロブアムを怒らせ、ユダヤの地の中央部～北部をまとめて奪い、北部王国「イスラエル」を分派として立てさせる悲劇を生んでしまいました。以来200年間、上記の表の様に、南北二国の王が並び立つ状況、しばしば、互いで小競り合いを起こすことが、続きました。その結末は、北イスラエルのアッシリア帝国侵攻による全滅と、南ユダの民族のバビロニア王国によるバビロン捕囚です。

この間、数々のエピソードがあります。南ユダのレハベアムが律法を捨てたことに由来してエジプトが侵攻してきます。同時に、南ユダのレハブアムと、北のヤロブアムの間でも早速、小競り合いが起きますが、こともあろうに、北のヤロブアムは、「金の子牛を掲げ」、南ユダに戦を仕掛けました(歴代史下11-15)。この後、異教の礼拝と偶像崇拜は、北部イスラエルの王を特徴づけるほどの状況となります。上部の表で、少なくとも、北部ユダのバアシャ*、エラ*、ジムリ*、オリム*、アハム* は皆、「主の目に悪いことをなした」(偶像の罪により)と書かれています。(王の系譜(左列)で*印参照)

南部ユダも、王によってはその悪しき傾向を免れません。(北部に比べれば少数ですが)南部のアタリア、アハズ等は「主の目に悪とされる事を行った」と書かれています。

その罪の発生の原因は、王が異教徒を妻と

し、王がその影響を受けたこと；あるいは、その子が王となってからでも、その（母の）影響から発生する罪が問題となります。例えば、南ユダのアタリアの一代前のアハズヤは母の勧めで悪の道に陥った、とあります。同

じ厄災が襲ったにせよ、時代は遡って南ユダのアサは、「異教徒の母を遠ざけ、主の道に近づいた」とあります。異教徒と偶像崇拜が、王の命脈(主から見る限り)を決めた様です。



ノーベル平和賞受賞を聞いて



10月6日、ノーベル賞委員会は2017年度のノーベル平和賞を、ジュネーブに拠点を置く核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）に授与すると発表しました。受賞の理由は、「核兵器の使用による、人類への壊滅的な結果に注目を集めさせ、その廃絶のための条約締結を達成した画期的な努力に対して」というものでした。この条約に対して、日本は核保有国（米国）の核の傘下にあるとして韓国と共に条約を批准していません。被爆した世界唯一の国として批准に期待が掛かっていたのに無視に近い形での批准拒否でした。このニュースを聞いた時は本当にかっかりしたものです。

ICAN は活動の当初から日本の広島、長崎被爆者の聞き取りに力を入れていましたので、この度の受賞の記者会見では「原爆被害者も同時に受賞したようなもの」と被爆者の献身をたたえています。おそらくは北朝鮮の核開発を意識はしているでしょうが、核廃絶には大きな力となるでしょう。

私事になりますが、私の父と、母いずれも原爆被害者です。父は爆心地から1.3 km程のところにあった軍需工場で被爆しました。旋盤と旋盤の間に梁が落下、その空間に居て助かったとか。母は、爆心地からは、かなり離れた場所で居たようですが、直後親戚の安否を尋ねて浦上を訪れたとか。そのため原爆手帳を入手するのが遅れ、二人の証言者を得て昭和30年代に入ってようやく認められました。

父も母もともに、脱毛、下血など原爆特有の症状はすべて体験したことを時折話してくれました。被害者の直接の話でしたから、聞くだに生々しく、小学生の折りなどは話を遮るか、その場を離れてしまうことが多々ありました。今にしてみれば、貴重な話を聞くチャンスを逃したものだ、悔やまれてなりません。

それでも父から、生前文章化してくれと頼まれ、聞き取りした十数時間に及ぶミニカセットテープが残っており、これを書き起こして原爆記念館に寄贈したいとは思っているのですが、小学生時代からのトラウマで、なかなか手につかない状況です。何ともお恥ずかしい話ですが… つまり、私は、両親が被爆者という原爆二世という立場。この度のICANのノーベル賞受賞は、私にとって改めて核廃絶を考える良い機会となりました。

（広報委員 山口一隆）

(世界三大宗教を知る) 仏教(1) どのように誕生し伝わったのか

数ヶ月前、ある国の大統領がエルサレムでこう言いました。「世界三大宗教であるキリスト教・イスラム教・ユダヤ教の一つのユダヤ教の聖地に来た」。この発言は世界中の笑い者になりました。ユダヤ教は三大宗教ではなく仏教と言うのが正解でした。

私たちの日本は仏教の国と言っても間違いないと思います。キリスト教徒の私たちも周りにある仏教のことの簡単な知識は常識として知っていても損ではないと思ひ仏教のことを書いてみたいと思います。お断りしておきますが、仏教の真理や教義については解説できませんが概略と伝承に限定して、見たり聞いてきたことを書いてみます。

紀元前 463 年インド釈迦(シャカ)族の王子として生まれたシッダールタは、29 歳で城を出て修行者になりました。修行者として激しい苦行を続けた彼は 35 歳の時に菩提樹の下で瞑想に入り、ついに真理を知り解脱(げだつ)しました。それから彼はブッダ(悟った人)と呼ばれるようになりました。解脱したブッダの教えを求め人々が集まり始め仏教が始まりました。そうしてブッダ(仏陀)の教えは多くの国々に； 南のセイロン島(今のスリランカ)、北のネパール、東のタイやビルマ(今のミャンマー)、西は今のパキスタン地域へ教えが浸透して行きました。このように伝わった仏教はセイロンとパキスタン方面に伝わったものを大乘仏教と言い、東の国に伝わったものを上部座仏教と言います。(上部座仏教を以前は小乗仏教と言っていましたが、小乗という言葉は大乘に対する見下げた表現であるとして現在は小乗という言葉を使わないことになっています。)

仏陀の教えは各地へ伝わって行きましたが、本家であるインドやネパールでは仏陀の教えが数百年後に逆に土着の信仰に巻き込まれ消滅してしまいました。アジア各地へ伝わった仏陀の教えは東南アジアや日本で根付いた所もあれば、後世に誕生したイスラム教に飲み込まれて消滅したところもあります。

ブッダの教えは日本へどのようにして伝わったのでしょうか？・・・日本へはパキスタンを経て北部のシルクロード沿いに砂漠を越えて中国へ伝わり、その後、朝鮮半島、日本へと伝わりました。中国へはあの有名な「玄奘三蔵法師」がインドへ行き大量の経文を当時の都長安(今の西安)へ持ってきました。西安には玄奘三蔵法師がインド語の経文を中国語に翻訳して保存した「大雁塔」が残っています。この長安には日本から高野山の弘法大師・空海や比叡山の祖の最澄などが遣唐使の一員として勉強に行きました。空海が修行をした青龍寺というお寺が今も西安にあります。この青龍寺は四国八十八か所巡礼の零番札所として日本人の参詣者には零番札所の札をくれます。

また四国四県から送られた千本の桜が植えられ地元では桜のお寺として有名です。

中国から伝わったからかは知りませんが、日本のお寺で読まれる経文は全部漢文ですね。

一つづくー (広報 岩本)



★諸聖人ミサ★

日 時：11月1日(水)
9時30分～ 19時30分～

★死者の日ミサ★

日 時：11月2日(木)
9時30分～ 19時30分～

死者の追悼の祈り(ミサ)を行います。色紙や用意してある紙に亡くなられた祈願者の名前を書いて、箱の中に入れてください。

★堅信式★

日 時：11月19日(日)
今回は、3名の方が堅信を受けられます。彼女らのために、お祈りを願います。

★七五三のお祝いミサ★

11月12日(日)ミサ中に行います。

★特別献金★

9月24日 世界難民移住移動者の日献金
34,670円
ご協力、ありがとうございました。

人 - ひ と

【帰天】安らかに！

9月8日
◇木森 輝彦さん(折尾地区)

9月25日
◇宗 清さん(折尾地区)

【転出】お元気で！

◇尾上 アキ子さん
折尾地区から 黒崎教会へ

【結婚】おめでとう！

10月15日
松尾 正太郎さん(遠賀地区)
井上 順子さん



ホームレス炊き出し報告

橋本富美

先般、行われました当教会のホームレス炊き出し要領について報告いたします。
参加者合計15名、作った弁当110食。ごはん260g：唐揚げ・スパゲティー・ミンチボール・高菜漬け・野菜の煮つけ(里芋・ニンジン・ころてん・煮豆) 枝豆・たくわん等ビニールのパックにぎゅうぎゅうに詰め、2・3日食べられなかった人達に届けています。今回に協力参加して下さった方、小倉の支援センターに行き、大塚・橋本で、ニコニコして受け取って下さる方(支援センターの職員さん)に届けています。

抱樸より頂いた金銭と物品：

材料費・200円/1食・・・220食分で22000円およびお米14kg・ビニールパック

収入ー支出： 22000円-20800円=1200円(抱樸に寄付しました。)特別におかず10パックおまけでした。

※)このお弁当は勝山公園で20時から配られます。夜間パトロールの方ご苦労様です。